

# 人間力開発講座

Communication

Communication

Communication

**基調講演：「聴くこと」と「待つこと」 午後3時～4時**

**山折 哲雄 氏**



宗教学者。1931年、浄土真宗本願寺派の開教師であった父親の任地・サンフランシスコで生まれ、実家のある岩手県花巻市で育つ。東北大学文学部卒業。東北大学文学部助教授、国立歴史民俗博物館教授、国際日本文化研究センター教授、同所長などを歴任。著書多数。最新刊は『無常という名の病—受け継がれる魂の遺伝子』（サンガ新書）（新書）『幸福と成功だけが人生か』（新書）また、ひろさちやとの対談集に『本当の「癒し」って何!?!』（One Plus Book）（単行本（ソフトカバー））など。

## 2009年6月10日水曜日

立命館大学 衣笠キャンパス

以学館 1号ホール 開場：午後2時～

◆聴く力、伝える力、書く力が求められる時代を生き抜くために

パネリスト

**入場無料/事前申込不要**

**「聴くこと」と「待つこと」の意味を求めて 午後4時15分～午後6時**

- ◆守田 稔 氏 関西医科大学付属病院精神神経科医師。大学在学中に病気から視覚障害、四肢障害をもつ。2001年に国家試験に関する欠格条項が改定され、2003年に全盲で初めて医師国家試験に合格する。現在は性同一性障害の外来を担当。視覚障害をもつ医療従事者の会（ゆいまーる）の代表をつとめる。
- ◆神居 文彰 氏 宇治平等院住職。仏教的な立場から、死生学を研究、精神対話士などの取り組みにも積極的に協力している。また、美術院監事や京都国立博物館評議員、ミュージアム鳳翔館館長などをつとめ、文化財の保存・活用にも取り組み、文化そのものから表現されたものとしての「いのち」を探求する。
- ◆春川 正明 氏 読売テレビ報道局解説委員。ロサンゼルス特派員としてペルーの大使公邸人質事件、ハワイ沖えひめ丸衝突事故などを取材。帰国後は報道部長を経て現職。現在、「ミヤネ屋」、「ten」にコメンテーターとして出演中。
- ◆藤井 理恵 氏 淀川キリスト教病院チャプレン、薬剤師から転職、神学研究科で学びなおし、牧師資格取得、臨床パストラルカウンセラー（PCCAJ認定）。病院では癌患者をはじめNICUの母親や精神科の患者のケアにあたる。双子の姉妹、藤井美和関西学院大学准教授との共著で「たましいのケア」（いのちのことば社）を出版。
- ◆中村 正 氏 立命館大学院教授、学校法人立命館理事、専門は、臨床社会学、司法社会学、男性学。

ファシリテーター

- ◆田中 まみ 氏 立命館大学大学院応用人間科学研究科修了、ソーシャルワークコミュニケーションスキルを応用して、分野を超えて活動する傍ら、ソーシャルワークの個別相談、マネジメント相談など実践、京都ノートルダム女子大学非常勤講師、京都ホスピタリティー研究所代表。

主催：立命館大学大学院応用人間科学研究科校友会  
企画協力：京都ホスピタリティー研究所

<http://www.r-gsshsa.jp/>  
TEL：06-6910-6147（受付専用）